

つと市民に理解しやすいものにできないか。

規制緩和についての考えは、官と民との役割、民間委託にNPOとの協働をどう考えているのか。

答 事務事業の再編整理、指定管理者制度も含めた民間委託等の推進、定員管理及び給与の適正化、財政の健全化等総合的に行政改革を推進することにより、行政サービスの向上を図ることができると考えている。そのため、行政改革大綱を作成する予定。

住民参加については、パブリックコメント制度等有効な方策を検討していきたい。

情報公開や住民参加の取り組みを充実させ、行政の透明性を一層高めていきたい。

規制緩和は、実施が適切なものは、積極的に民間委託を推進していき、NPO法人の活用を今後さらに広げていきたい。

子育て支援を中心とした少子化対策について

問 子育て支援の現状と分析をどのように判断しているのか。今後の対策と少子化の具体的な取り組みは、どう考えているか。

答 子育て支援の主なものは、乳児保育、延長保育、一時保育などの充実、子育て支援センターの設置、地域においてはファミリーサポートセンター設置事業、集いの広場事業や放

課後児童健全育成事業の整備、拡充、さらに児童手当の給付及び乳幼児医療費助成制度などの事業を実施している。少子化はさらに深刻化し、集中的かつ計画的に推進する必要がある。今後は、放課後児童クラブの新設や保育所の定員増など、旧市村で策定の次世代育成支援行動計画の中で具体的目標数値の実現に努力していきたい。



異年齢の子どもが集まる放課後児童クラブ

秋山 勉

総合型地域スポーツクラブについて

問 清音地区には、地域住民を巻き込み事業を活性化に行なっている清音スポーツクラブを設立しているが、どの程度理解されているか。また、総合型スポーツクラブは地域によつては中学校区に一つは必要と思うが、行政としての支援も含め今後の市としての対応はどのように考えているか。

答 清音スポーツクラブは、複数の種目が用意され、また、文化的活動も含め子どもからお年寄りが楽しめる総合型スポーツクラブであると承知している。今後、清音のスポーツクラブを研究しながら市民の方々が生涯を通じて健康で、自分にあったスポーツクラブが描ける総合型地域スポーツクラブを地区に設立していきたい。

ごみの有料化について

問 合併時点でごみの有料化が決まっていたが、1年先送りとなった。旧市村で温度差があり調整に時間が必要と聞いているが、来年の4月までにごみの有料化は実現できるのか。

答 ごみの分別、減量など、リサイクル推進が期待でき、排出量に応じた費用負担の公平性が図られることができ、来年4月からの導入に向けて今、取り組んでいる。何よりも市民の皆様のご理解が必要で、各地区への説明会などあらゆる機会を通じて環境問題も含め、ごみの減量、リサイクルの推進に取り組んでいきたい。

◆ このほかに、中学校教科書の採択について質問しています。